

海外安全対策情報（令和6年度第4四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) パラナ州公安局発表による犯罪資料報告によると、パラナ州における2024年の殺人事件の発生件数は、1,620件（前年比15.7%減）。クリチバ市における2024年の殺人件数は、173件（前年比17.6%減）。クリチバ市の人口10万人あたりの殺人件数は、9.75件であり、日本の0.73件を大きく上回る。
- (2) パラナ州における2024年の麻薬の密輸・密売件数は、13,389件（前年比9.1%増）、麻薬の所持・使用等犯罪件数は、14,254件（前年比6.7%増）と麻薬に関わる犯罪が増加傾向にある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) クリチバ市を含む大クリチバ圏においては、銀行、住居、店舗及びレストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗や長距離及び路線バスに対する強盗事件が昼夜問わず発生している。
- (2) パラナ州はパラグアイ国境からブラジルに流入する大量の麻薬（大麻、クラック、オキシィ等）及び銃器類の密輸入ルートとなっており、密輸組織絡みの殺人事件が頻発している。
- (3) クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

3 犯罪事例（令和6年度第4四半期）

- (1) 1月11日午後10時半頃、クリチバ市クリチバ工業地区（Cidade Industrial de Curitiba）を走行中のカパウン・ハゾ/アラウカリア線（Capão Raso/Araucaria）のバス車内で3人組の強盗が乗客の携帯電話を奪い逃走した。被害者の男性は抵抗した際に、刃物で背部を3回刺され重傷を負い、被害者の女性は軽い切り傷を負い病院に搬送された。
- (2) 2月15日、パラナ州北部のロンドリーナ市で男性2人が警察の駐車命令を無視して逃走し、その後、警察に銃を向けたため射殺された事件を受け、2月16日未明に暴徒によるバスの襲撃事件が発生し、2月17日午後5時半頃から午後10時頃に暴徒が市内の数か所の路上でバスやベッドマットレス等を燃やす事件が発生。暴動に関与したとみられる4人が現行犯逮捕された。

- (3) 3月13日午後9時40頃、クリチバ市カジュル地区 (Cajuru) のテオフィロ・オトニ通り (Rua Teofilo Otoni) で歩行中の女性が強盗犯に拳銃で脅された。女性の後ろを歩いていた男性が異変に気が付き、逃げようとしたところ、強盗犯が発砲し、男性の頭部に命中した。その後、強盗犯は女性の携帯電話を奪い、逃走した。男性は重傷を負い、搬送先の病院で死亡が確認された。
- (4) 3月24日午前7時頃、パラナ州ピニャイス市 (Pinhais) パインビル地区 (Pineville) の宝石店が4人組の強盗団に襲撃されそうになったが、店側が素早く店舗シャッターを閉めたため、被害を免れた。強盗団はその後、同日午後4時頃、サン・ジョゼ・ドス・ピニャイス市 (Sao José dos Pinhais) シダージ・ジャルジン地区 (Cidade Jardim) のアイスクリーム店を襲撃し、逃走。翌25日午後5時頃、サン・ジョゼ・ドス・ピニャイス市コロニア・リオ・グランデ地区 (Colonia Rio Grande) のマンション敷地内で、強盗団と警察との間で銃撃戦が発生し、強盗2人が死亡した。